

# 取扱説明書

(物品名称)

音声信号 I P 変換アダプタ

平成 2 4 年 9 月



エイリツ電子産業株式会社

本社 福岡市南区柳河内 1 丁目 2-50 〒815-0063

電話 (092) 551-0231 (代表)

FAX (092) 551-1172

## 目 次

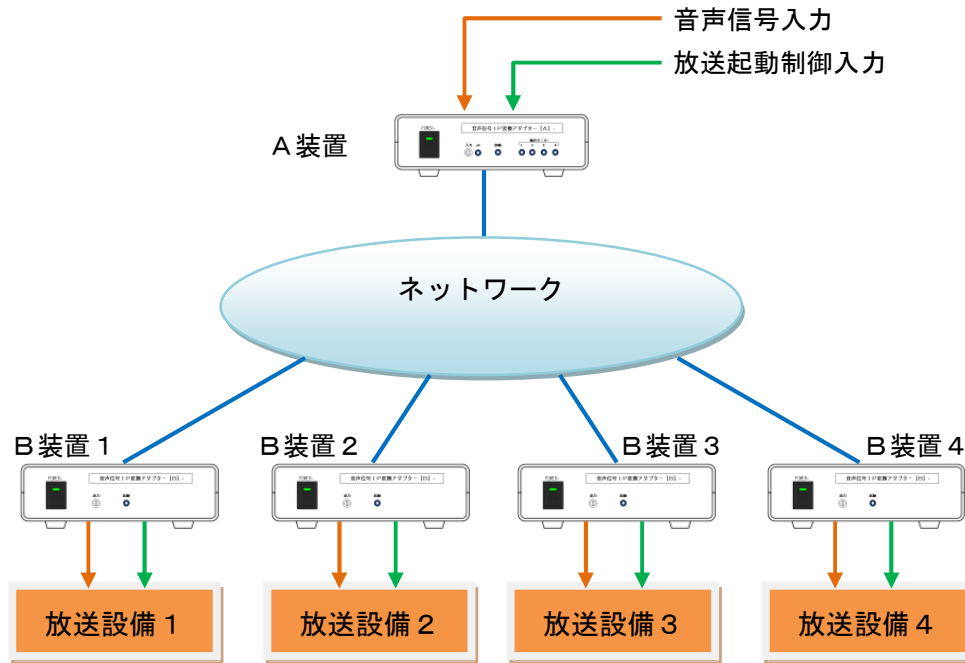
- 1 概 要
- 2 構 成
- 3 構 造
- 4 仕 様
  - 4. 1 入力電圧
  - 4. 2 環境条件
  - 4. 3 電気的特性
  - 4. 4 消費電流
- 5 機 能
  - 5. 1 音声信号 I P 変換アダプタの機能
- 6 I P アドレスの設定
  - 6. 1
  - 6. 2
  - 6. 3
- 7 取扱説明
  - 7. 1 各部位説明
  - 7. 2 音声信号 I P 変換アダプタ [A] の操作説明
  - 7. 3 音声信号 I P 変換アダプタ [B] の操作説明
- 8 外観図
  - 8. 1 音声信号 I P 変換アダプタ [A]
  - 8. 2 音声信号 I P 変換アダプタ [B]

変 更 履 歴		設 計	製 図	照 査	承 認	年 月 日	1/11
		横尾	—	—	高木	H22.11.10	
		名 称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
		図 番					

# 1. 概要

本製品は、音声帯域内の入力信号をIPに変換し制御情報とともにネットワークへ接続するもので、複数の対向局へ音声と制御データを送出することができます。本書では送出側装置を「音声信号IP変換アダプタ [A]」、端末装置を「音声信号IP変換アダプタ [B]」と称します。

システムブロック図



# 2. 構成

装置構成品目を表1に示します。

表1 装置構成品目

品名	規格/型式	数量	備考
音声信号IP変換アダプタ [A]	EPI1100-CNV-M	1台	
音声信号IP変換アダプタ [B]	EPI1100-CNV-S	4台	
取扱説明書		1式	

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	2/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号IP変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

### 3. 構造

音声信号 I P 変換アダプタの構造及び寸法を表 2 に示します。

表 2 音声信号 I P 変換アダプタ構造

項目	規格及び条件	備考
装置形状	卓上据置型	
寸法 (W*H*D)	40H×130W×180D	UC40-4-10AA (タカチ)
重量	2.0kg 以下	
塗装色	セレクトアイボリー	

### 4. 仕様

#### 4. 1 入力電圧

AC100V±10%

#### 4. 2 環境条件

周囲温度 0～40℃で電氣的、機械的に異常がないこと

相対湿度 90%で電氣的、機械的に異常がないこと

#### 4. 3 電氣的特性

音声信号 I P 変換アダプタの電氣的特性を表 2 に示します。

表 3 電氣的特性

項目	規格及び条件	備考
音声入力 [A]	-20dBm ~0dBm/600Ω	出荷時-10dBm に設定
音声出力 [B]	-20dBm ~0dBm/600Ω	出荷時-10dBm に設定
周波数特性	0.3KHz ~ 3.4KHz ±1dB 以内	
制御入力 [A]	ループ情報 (接点入力)	放端子電圧 DC1.86V
制御出力 [B]	接点出力 (DC24V 0.2A)	
ネットワーク	10BASE-T	
プロトコル	TCP. UDP. ARP. ICMP. RTP. IGMP	
伝送方式	ユニキャスト	4箇所
電源入力電圧	AC100V±10V	
消費電力	3W 以下	

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	3/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

## 5. 機能

5. 1 音声信号 I P 変換アダプタの機能を表 4 に示します。

表 4 音声信号 I P 変換アダプタ機能一覧

機能項目	機能内容
音声信号伝送	音声信号 I P 変換アダプタ [A] に入力した音声信号は複数箇所に設置する音声信号 I P 変換アダプタ [B] に対しユニキャストで送ります。
音声信号入出力レベル調整	音声の入出力レベルは $-10\text{ dBm}$ で $\pm 10\text{ dBm}$ 以上の範囲で調整が可能です。
音声信号検知表示	音声信号 I P 変換アダプタ [A] の I P 変換部への入力レベル調整で、適正レベルに達すると「ok」の LED が点灯します。
放送起動制御	音声信号 I P 変換アダプタ [A] で入力した制御信号（放送起動）は最大 4 箇所の音声信号 I P 変換アダプタ [B] の出力端子に出力します。
端末監視	音声信号 I P 変換アダプタ [B] との接続状態を、音声信号 I P 変換アダプタ [A] の LED で各々表示します。 [B] と接続が完了すると緑点灯します。

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	4/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

## 6. IPアドレス設定

メンテナンスソフトを使用して、各アドレスの設定を行います。



### 6. 1 装置検索

装置とパソコンをLANケーブルで接続し、装置の電源を入れ「検索」ボタンを押してください。

各設定を行う場合は、マウスの右で一覧部分をクリックして選択してください。  
水色で選択状態です（上図の状態）。

### 6. 2 本体基本設定

設定する装置のIPアドレス、サブマスクを入力します。

アダプタAの場合、ゲートウェイも入力してください（Bは‘0’にしてください）。

入力後、セットボタンを押してください。

設定できなかった場合は、一覧部分が赤くなります。

### 6. 3 アダプタB設定

アダプタAに、アダプタBのIPアドレスを入力します。

※アダプタBには、設定する必要はありません。

入力完了後、セットボタンを押してください。

設定できなかった場合は、一覧部分が赤くなります。

※設定が失敗する場合は、パソコンのアドレスがアダプタとアクセスできないアドレスとなっている場合に発生します。

上図の場合、アダプタは「192.168.10.10」

パソコンは「192.168.1.227」

ですので、通信を行うことができません。

パソコンのアドレスを「192.168.10.\*\*\*」に変更して設定してください。

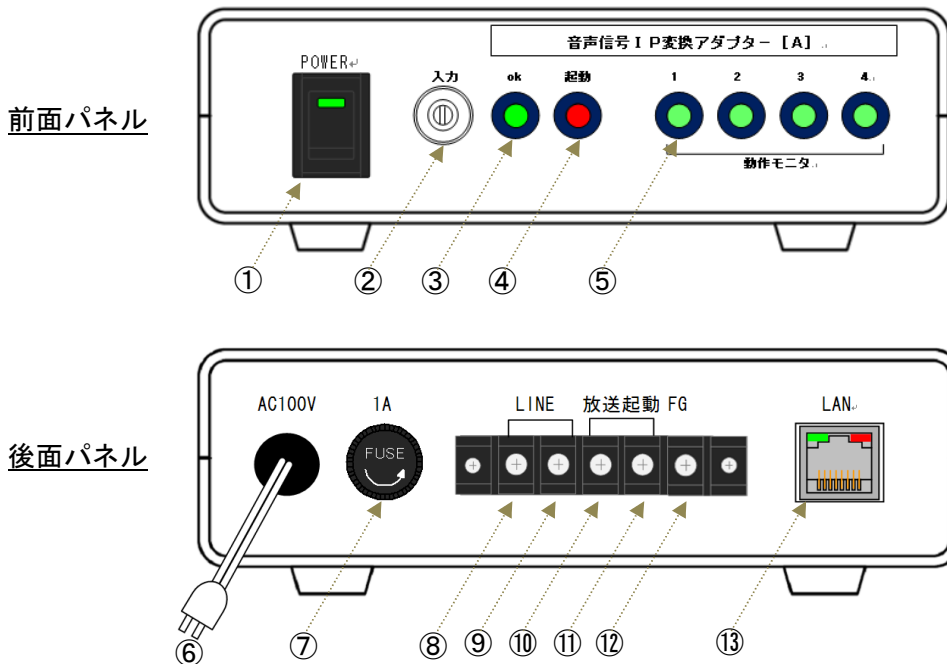
※各設定が完了したら電源を入れ直してください。

変更履歴		設計	製図	照査	承認	年月日	5/11
		横尾	—	—	高木	H22.11.10	
		名称	音声信号IP変換アダプタ 取扱説明書				
		図番					

## 7. 取扱説明

### 7. 1 各部位説明

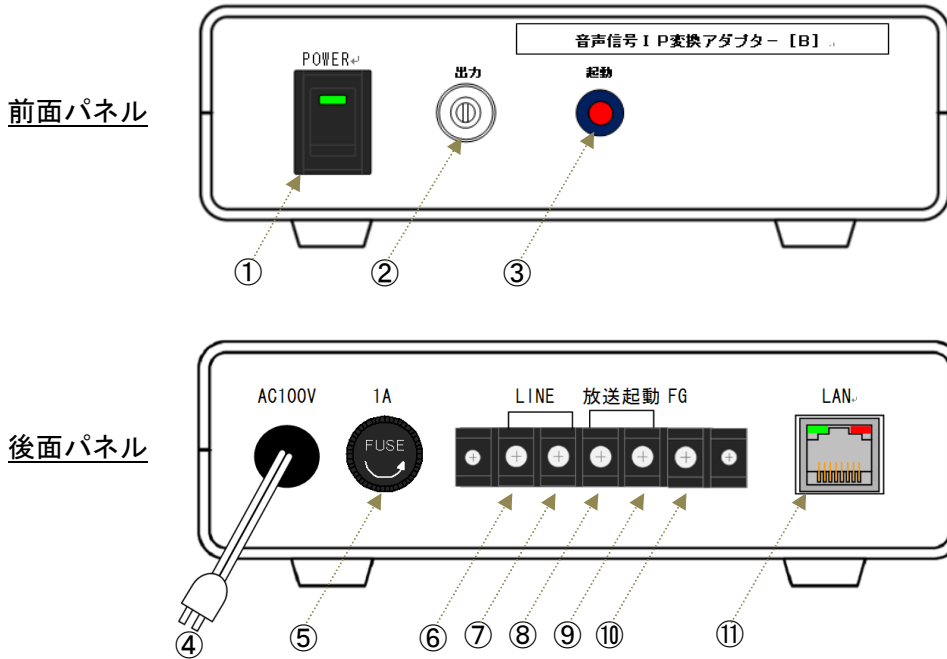
#### 音声信号IP変換アダプタ [A]



No.	部位名称	機能・操作
①	電源スイッチ	AC100Vの電源入力を開閉します。ON時LED点灯
②	入力レベル調整VR	信号入力端子のレベルを適正值に調整します
③	入力レベル検知LED	信号入力状態で、VRを左から右にLEDが点灯するまで廻すと規定レベルにセットできます。
④	起動制御LED	放送起動端子を短絡するとLEDが点灯します。
⑤	端末監視LED	音声信号IP変換アダプタ [B] が接続状態にあると点灯します。
⑥	電源コード	AC100Vのコンセントへ接続します。
⑦	電源ヒューズ	AC100Vの電源回路用ヒューズです。
⑧	信号入力端子 L 1	音声信号ラインを接続します。600Ωバランス入力
⑨	信号入力端子 L 2	
⑩	制御入力端子 +	放送起動用制御端子で+の極性です。短絡で起動
⑪	制御入力端子 -	放送起動用制御端子で+の極性です。←
⑫	保安アース	感電防止及び雷サージから保護するアースです。
⑬	LANコネクタ	ネットワークへ接続します。

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	6/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号IP変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

音声信号 I P 変換アダプタ [B]



No.	部位名称	機能・操作
①	電源スイッチ	AC100V の電源入力を開閉します。ON 時 LED 点灯
②	出力レベル調整 VR	信号出力端子の出力レベルを調整します。
③	起動制御 LED	音声信号 I P 変換アダプタ [A] から放送起動を受信すると LED が点灯します。
④	電源コード	AC100V のコンセントへ接続します。
⑤	電源ヒューズ	AC100V の電源回路用ヒューズです。
⑥	信号出力端子 L 1	音声信号ラインを接続します。600Ω バランス出力
⑦	信号出力端子 L 2	
⑧	制御出力端子	放送起動用で、リレーの a 接点を出力します。
⑨	制御出力端子	
⑩	保安アース	感電防止及び雷サージから保護するアースです。
⑪	LANコネクタ	ネットワークへ接続します。

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	7/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

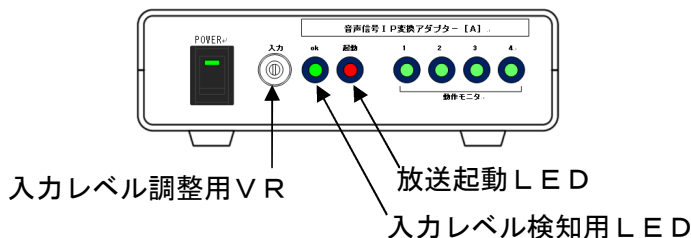


## 7. 2 音声信号 I P 変換アダプタ [A] の操作説明

### 7.2.1 電源投入

本体表面にある電源スイッチ「POWER」を投入すると、装置内部回路に必要な電源を供給し前面パネル面のLED（緑）「PWR」が点灯します。

### 7.2.2 音声信号入力レベル調整

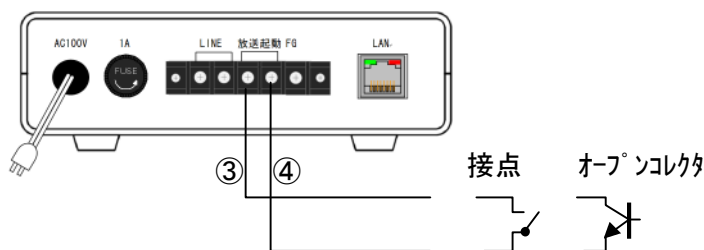


- ① 後面端子に信号を入力します。
- ② 入力レベル調整用 V R を左に廻し、除除に右廻りへ回転させます。
- ③ LED が点灯したら適正な入力レベルになります。

I P 変換 CODEC への入力レベルは -10dBm です。

### 7.2.3 放送起動入力

- ① 放送起動入力端子を短絡すると、放送起動 LED が点灯すると共に入力した音声信号がネットワーク上に送出されます。
- ② 放送起動の入力回路にフォトカプラを挿入しています。  
電子スイッチで制御する場合、端子 3 を + 極、端子 4 を - 極に併せてください。



### 7.2.4 端末モニタ表示

- ① 対向の「音声信号 I P 変換アダプタ [B]」が接続状態になると、1 ~ 4 の当該端末を示す LED が点灯します。放送機の動作状態を示すものではありません。

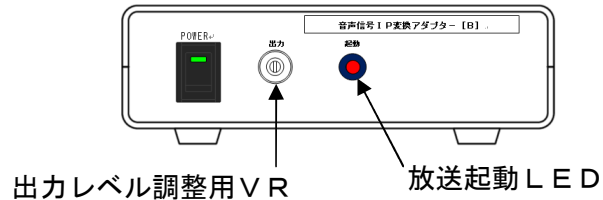
変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	8/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

### 7.3 音声信号IP変換アダプタ [B] の操作説明

#### 7.3.1 電源投入

本体表面にある電源スイッチ「POWER」を投入すると、装置内部回路に必要な電源を供給し前面パネル面のLED（緑）「PWR」が点灯します。

#### 7.3.2 音声信号出力レベル調整



- ① 後面端子にレベル計を接続します。
- ② 出力レベル調整用VRで必要なレベルに調整してください。  
最大出力は0dBmです。

#### 7.3.3 放送起動出力

- ① 放送起動を受信すると音声出力と共に放送起動LEDが点灯します。
- ② 放送起動の出力回路は、リレーによるa接点を出力します。  
負荷容量は、24V 0.2Aです。AC100V及びDC48V回路は接続できません。

変更履歴	設計	製図	照査	承認	年月日	9/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名称	音声信号IP変換アダプタ 取扱説明書				
	図番					

## 8. 外観図

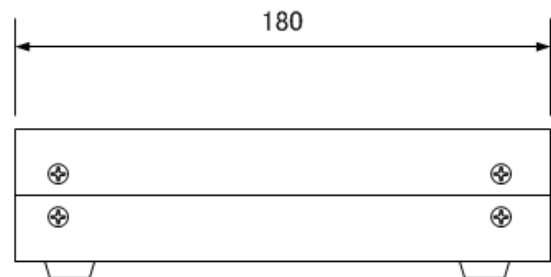
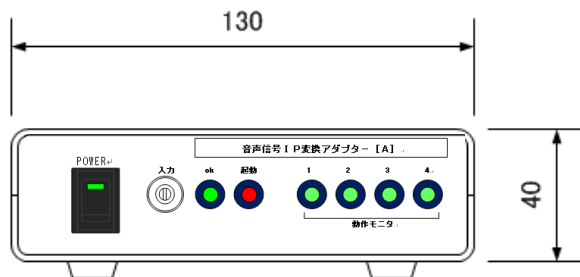
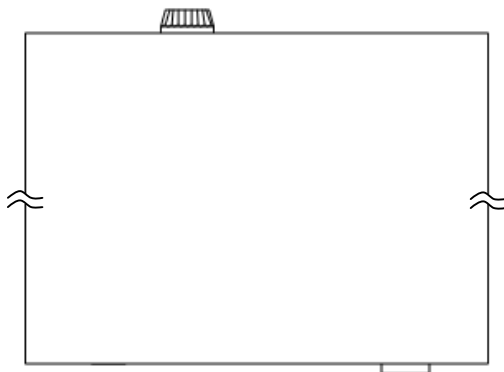
### 8.1 音声信号 I P 変換アダプタ [A]



標準外形許容差

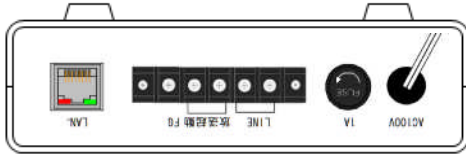
区 分	許容差
2.000mm 以下	±1
2.000mm をこえ 3.000mm 以下	±2

タカチ電機;UC型アルミサッシケース  
UC40-4-10AA (セレクトアイボリー色)



変更履歴	設計	製 図	照 査	承 認	年 月 日	10/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名 称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図 番					

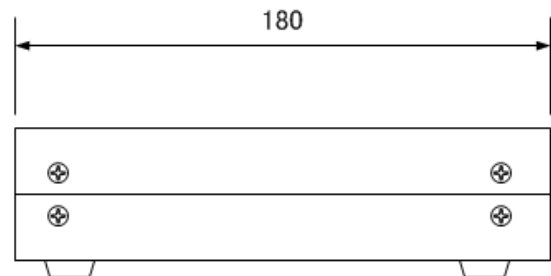
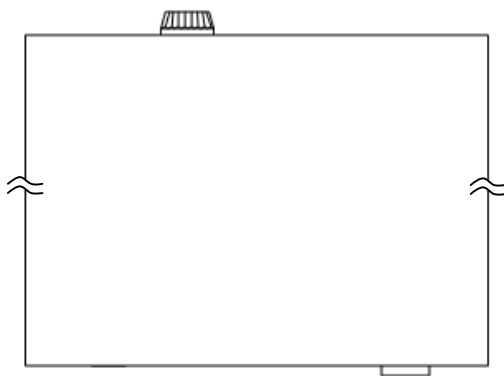
8.2 音声信号 I P 変換アダプタ [B]



標準外形許容差

区 分	許容差
2.000mm 以下	±1
2.000mm をこえ 3.000mm 以下	±2

タカチ電機;UC型アルミサッシケース  
UC40-4-10AA (セレクトアイボリー色)



変更履歴	設計	製 図	照 査	承 認	年 月 日	11/11
	横尾	—	—	高木	H22.11.10	
	名 称	音声信号 I P 変換アダプタ 取扱説明書				
	図 番					